

新入生履修ガイダンス



2022年9月

情報生産システム研究科

1. 修了要件・科目履修方法
2. 授業成績の総合評価
3. 不正行為への対処
4. 研究室配属説明会
5. 修士論文中間発表会
6. 修士修了審査

授業科目

本研究科では、「基礎講義科目」、「専門講義科目」、「実験科目」、「特論」、「演習」を設定しています。

基礎講義科目	各分野において専門的な学科目の学習と研究活動を行っていく上で必要となる基礎的な知識や技術の修得を目的として設定しています。
専門講義科目	本研究科の修士課程の中核をなす講義科目であって、修士課程修了生として修得しておくべき専門知識を学習することを目的としています。
実験科目	情報アーキテクチャ実験と生産システム実験を設置しています。情報アーキテクチャ分野の基礎となるコンピュータネットワークを中心とした実験と生産システムで広く使用される機器・設備に触れることを目的とした生産システム実験を行います。
特論	主として個々の教員の先端研究に密接に関係する高度の講義科目であって、学生が所属する研究室における専門的知識を与えるために設定しています。
演習	修士論文のための学習・研究の一貫として行われるもので、研究室に所属している学生を対象に行います。

基礎、専門、実験科目1.2単位以下の場合、中間発表資格要件未達の警告を行う。

基礎、専門、実験科目1.8単位以上、演習または特論4単位以上取得
⇒中間発表資格あり

	9月28日	10月12日	2月24日	3月3日	4月上旬	8月下旬
修士1年	秋学期講義開始	研究室仮配属	秋学期成績発表	研究室本配属	春学期講義開始	春学期成績発表

	9月下旬	2月下旬	4月上旬	4月上旬	7月上旬	8月下旬	9月中旬
修士2年	秋学期講義開始	秋学期成績発表	修士論文中間発表	春学期講義開始	修士論文発表	春学期成績発表	学位授与式

修了要件：
基礎、専門、実験科目2.0単位以上
(基礎4単位以内)、特論2単位、演習8単位以上取得

学年	科目	単位数	履修済	未履修
1年次	基礎科目	30	0	30
2年次	専門科目	30	0	30
3年次	専門科目	30	0	30
4年次	専門科目	30	0	30
合計		120	0	120

Copyright (C) Sinya Hatakeyama, Center, Waseda University 2007-2012. All rights reserved.
 印刷: 2012/10/10 10:10:10

30が重要!
 修了するためには
 30単位必要です。

必ず、研究室本配属後学期末毎に確認して下さい。

その他、ひびきの学研都市で受講できるもの

●学研都市連携大学院

学研都市内3大学院が連携し、実践的な教育プログラムを開発、実施。自動車・ロボットの高度化知能化に向けた高度専門人材育成を目的とする。

●学研都市単位互換制度

学研都市内で北九州市立大学、九州工業大学の単位互換科目を履修し、IPSの単位として取得することが可能。

授業成績の評価 Evaluation of exam results

目的

奨学生決定、就職推薦、修了時総代決定の際、
参考にされることがある。

Purpose

It might be used for deciding:

Screening of Scholarship recipient,
Job recommendation, Representative of
commencement ceremony, etc.

1

評価方法

1. 計算式

科目の成績評価に対してGrade Pointと呼ばれる換算値（A+は4点、Aは3点、Bは2点、Cは1点、不合格は0点）が決められています。それぞれの「科目の単位数」と「成績評価のGrade Point」の積の総和を「総登録単位数」で割って、スコア化したものがGPA（Grade Point Average）です。総登録単位数には、不合格科目の単位も含まれます。これを式で表すと、次のようになります。

$$\frac{(A+\text{修得単位数} \times 4) + (A\text{修得単位数} \times 3) + (B\text{修得単位数} \times 2) + (C\text{修得単位数} \times 1) + (\text{不合格科目単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数 (不合格科目を含む)}}$$

※GPAは、小数第2位まで表示します。（小数第3位は、四捨五入とします。）

2

1. Calculation Formula

Waseda University uses an evaluation system with a set of conversion rates called Grade Points (4 points for A+, 3 points for A, 2 points for B, 1 point for C, and zero point for Falling Grades).

A Grade Point Average (GPA) is a score calculated by multiplying "total number of credits by grade point(A+, A, B etc.)" and "corresponding grade point (4 for A+, 3 for A etc.)", then totaling the obtained figures for the all grades and dividing the result by "total number of registered credits".

The total number of registered credits includes credits earned for falling grades. This will be calculated in the following formula:

Calculation Formula

$$\frac{[(\text{No. of A+ credits} \times 4) + (\text{No. of A credits} \times 3) + (\text{No. of B credits} \times 2) + (\text{No. of C credits} \times 1) + (\text{No. of Falling Grades} \times 0)]}{\text{Total number of registered credits}} = \text{GPA} \quad (* \text{ The GPA will be rounded to the second decimal place.})$$

3

2. 対象科目

卒業算入対象科目として登録した科目でA+、A、B、C、F
評価された科目

2. Subjects used in the GPA calculation

The GPA calculation considers only the subjects registered as the subjects to count toward graduate credits.

The subjects which are evaluated A+, A, B, C, or F.

3. GPAの通知・証明

GPAは、MyWaseda 成績照会画面にて参照可能です。また、GPA対象科目の成績およびGPAが記載された「GPA証明書」も発行可能です。「GPA証明書」発行希望の場合は、事務室にてお申し込みください。なお「成績証明書」には、GPAは記載されません。

3. GPA on Grade Report and Transcript of Academic Record

Please note that the GPA will appear on the Grade Report in MyWaseda, but not on the Transcript of Academic Record.

"Transcript of Academic Record / GPA" indicating the GPA is available at IPS office.

4

試験およびレポートに関する 不正行為への対処

Rules for Dealing with a Dishonest Act on an examination / a report

1

1. 不正行為の種類

- 1) 試験に関する不正行為
 - ①カンニング(携帯、スマートフォン、タブレット等の使用)
 - ②不正受験
 - ③試験問題事前取得及び漏洩
- 2) 論文考査(レポート)及び論文考査以外のレポートなどに関する不正行為
 - ①レポート剽窃
 - ②レポート代筆
 - ③剽窃補助

2

1. Kind of dishonest act

- 1) Dishonest act on an examination
 - (1) Cheating on an examination (Illegal Use of Mobile phone, Smartphone & Tablet etc.)
 - (2) Taking an examination unjustly
 - (3) Obtaining/distributing the examination questions prior to the examination
- 2) Dishonest act on a report
 - (1) Plagiarizing or imitating other people's reports/thesis
 - (2) Writing a report for other student
 - (3) Helping others plagiarize or imitate other people's reports/thesis

3

2. 不正行為に対する処分

- ・ 原則として停学3ヶ月
(停学起点日は不正行為実施日)
当該セメスター登録のすべての科目無効
- ・ 処分適用の場合、研究科長より適用者へ
処分内容を連絡するとともに、
原則として内容及び氏名を公示する。

4

2. Penalty for the dishonest act

- In principle, the penalty is three-month suspension from school (the starting date of the suspension from school is the date on which the dishonest act was done)
- The student will fail all the subjects in which he/she enrolled for the semester automatically.
- When the penalty is imposed on the student, Dean of the graduate school will inform the student of the school's decision. In principle, the name of the student and the content of his/her dishonest act will be announced publicly.

5

Prior Penalty for the dishonest act

- Student A •• 2 months suspension from school, all subjects were failed in the semester
- Student B •• 2 months suspension from school, concerned subject was failed
- Student C •• 2 months suspension from school, all subjects were failed in the semester

All the names of students and the contents of their dishonest act were announced publicly.

7

過去の処分事例

- 学生Aさん
 - 停学2ヵ月、当該学期の全科目無効
 - 学生Bさん
 - 停学2ヵ月、当該科目無効
 - 学生Cさん
 - 停学2ヵ月、当該学期の全科目無効
- いずれも不正内容、氏名を公示。

6

レポートでの盗用と引用・参照

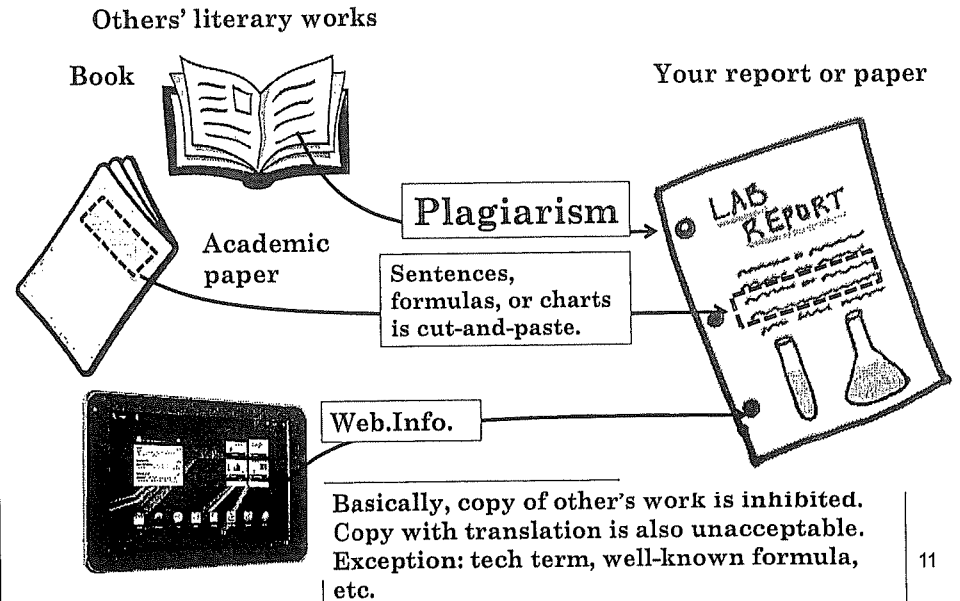
- 盗用の定義 ([1]より引用)
 - [1]では「他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。」としている
 - [1] MEXT (Ministry of Education, etc.), http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu12/houkoku/attach/1334660.htm, Access at Jan. 31, 2019.
- 引用・参照
 - 他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、出典を明記して用いる
- 人のアイデア・情報は人のものと明示する

8

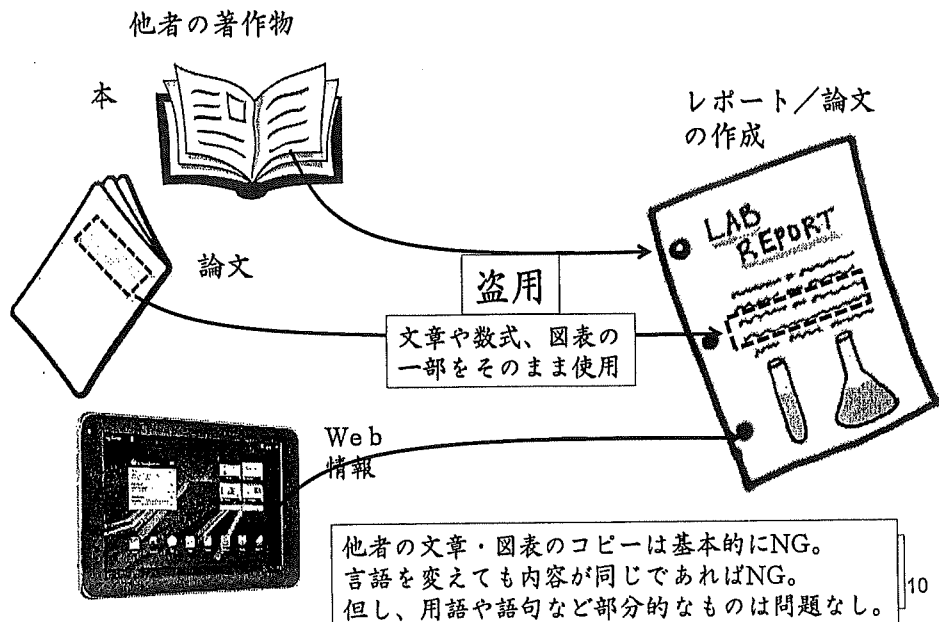
Plagiarism versus Quotation/Citation/Reference

- Definition of Plagiarism (Quoted from [1])
 - In [1], plagiarism is defined as "Usage of other researchers' idea, methods, data, results, or sentences without the agreement of the researches or without the proper notification."
 - [1] MEXT (Ministry of Education, etc.), http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu12/houkoku/attach/1334660.htm, Access at Jan. 31, 2019.
- Quotation/Citation/Reference
 - Use other researchers' idea, methods, data, results, or sentences with the clear notification of the source
- Other person's idea and information should be shown as other persons

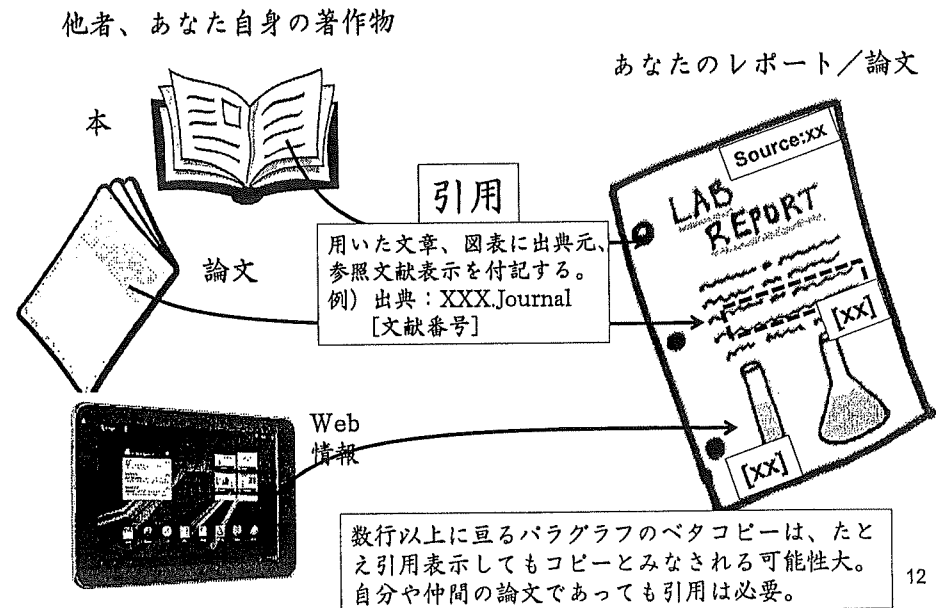
Typical Plagiarism



盗用 or 引用

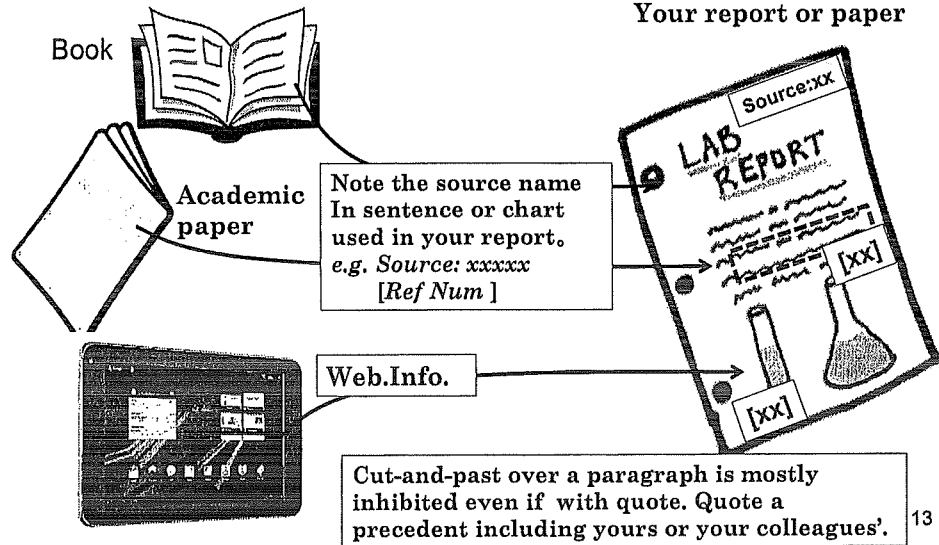


盗用 or 引用



Quotation/Citation/Reference

Others' or your literary works



引用・参照（[2]より引用）

- 直接引用
 - 他人の文章をそのまま用いる場合
 - 「…である」 [???] としている
 - ・ 「」で囲んで引用箇所を明示。変更は不可
 - ・ [???] は文献番号など出典との対応関係を表す
 - 出典情報はページの脚注あるいは文章の最後に一覧で明示
- 間接引用
 - 内容を要約して他人の情報を伝える場合
 - ??? は [???] で新たな手法を提案している。
 - ・ 最初の ??? は人の名前、[???] は文献番号情報など
 - クロックゲーティングの新たな手法が提案された [3], [4].

Quotation/Reference (Cited from [2])

- Direct Quotation
 - Use other person's sentences as it is
 - The author said that "..." [???].
 - Show the part of quotation using "", and the sentence cannot be changed
 - [???] show the ID of the source of the sentence
 - The sources are at a footnote or at the last part of the manuscript
- Indirect Quotation
 - Contents are summarized and used
 - The author ??? proposed a new method in [???].
 - First ??? is author's name, [???] is the ID of the source
 - New clock gating methods have been proposed ([3], [4]).

参考文献 Reference / Bibliography

- [1] MEXT (Ministry of Education, etc.), http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu12/houkoku/attach/1334660.htm, Access at Jan. 21, 2016.
- [2] <http://www.juen.ac.jp/psych/nakayama/making/02.html>, Access at Jan. 21, 2016.
- [3] A. Hurst, "Automatic Synthesis of Clock Gating Logic with Controlled Netlist Perturbation," Proc. DAC 2008, pp.654-657, June 2008.
- [4] Pietro Babighian, Luca Benini, Enrico Macii, "A Scalable Algorithm for RTL Insertion of Gated Clocks Based on ODCs Computation," IEEE Trans. on CAD, Vol. 24, No. 1, pp.29-42, Jan. 2005.

盗用と引用・参照の判断

- ・ 人のアイデア・情報は人のものと明示する
 - 正しく引用・参照する
 - 最低限
- ・ 判断は教員による
 - 引用が許される場合と許されない場合がある
 - 各教員の指示に従うこと
- ・ レポート課題に対して、他の意見を正しく参照しながら、何かしら自分で考え、自分の言葉で書くことが重要
 - 先輩のレポートと同じものは許されない

17

Judgement of Plagiarism and Quotation/Citation/Reference

- ・ Other person's idea/sentences should be shown as other person's
 - Correctly quote or refer
 - This is the minimum manner
- ・ Judgement depends on each professor
 - Quotation is allowed in some case and is not allowed in another case
 - Please follow each professor's direction
- ・ On the report theme, you should think by yourself and write with your own words based on other ideas with correct quotation (reference)
 - ・ The report same as a senior student's is not allowed anyway

18

オンライン授業、ここに注意!

CASE 1

教員がリアルタイム配信した映像の一部を、スクリーンキャプチャして静止画として記録したり、映像として記録したりして、SNSに掲載してもよいか。

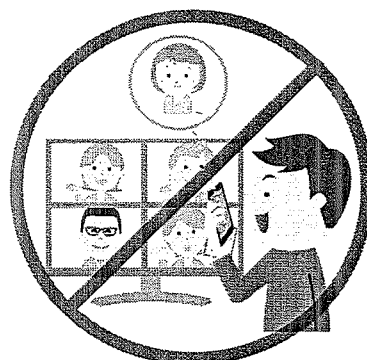
個人的に記録することは適法ですが、SNSにアップすることは違法の場合があります。その場合、大学内での処分の対象となるだけでなく、民事訴訟等に発展する可能性もあります。



CASE 2

リアルタイム配信された授業で、知人の顔が写り込んでいたので、スクリーンキャプチャして別の知人に送った。

不可です。プライバシーの侵害となる場合があります。リアルタイム配信授業では、出席確認や発表のため受講生が「顔出し」をすることがありますが、その画面をキャプチャしてシェアすることは、受講者同士のマナーに反します。



CASE 3

授業において、映像でプレゼンテーションを作成し、Waseda Moodleでシェアすることになった。プレゼンテーションの映像に、映画のワンシーンや流行りの音楽を含めてもよいか。

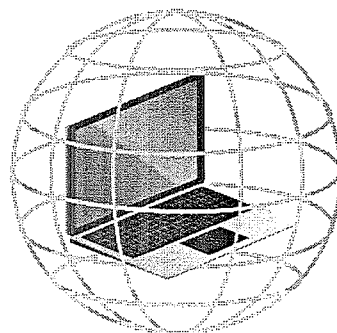
授業のプレゼンテーションにおいてどうしても必要である場合は、「必要と認められる限度」で可となります。なお、Waseda Moodle以外の公開されたサイト(SNSなどを含む)へのアップロード、例えば、YouTubeへのアップロードは、たとえ限定公開であっても、もしURLが出回ると、不特定多数がアクセス可能な状態と取り扱われるため注意が必要です。



CASE 4

授業で配布された資料を Google Document や Dropbox に保存し、限定リンクでアクセス可能にすることは可能でしょうか。

限定リンクであれば、URLを知っている人しかアクセスできないため、そのURLが特定少数の人だけに知られている限りは問題ありませんが、もしURLが出回ると不特定多数がアクセス可能な状態になりますので注意が必要です。



ソーシャルメディア利用にあたって

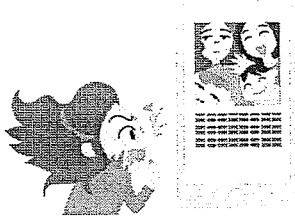
ソーシャルメディアとは、個人による情報発信や個人間のコミュニケーション、人の結びつきを利用した情報流通などといった社会的な要素を含んだメディアのことです。具体例として、SNS (Facebook、Twitter、Instagram 等)、ブログ・ホームページ、動画配信サービス (YouTube 等) などがあります。

気軽に情報発信することが可能で、物理的に離れている人とも気軽にコミュニケーションをとることができるため、コロナ禍で人との接し方にも変化が生じている現在、以前にも増して大事なツールとなっています。一方、ソーシャルメディアの利用においては、誤った情報が爆発的に広がる可能性があること、個人情報を必要以上に開示してトラブルに巻き込まれることなど、損害賠償や人権侵害問題につながるような多くのリスクも存在しています。

ソーシャルメディアが公共の場であることを認識し、あらためてその利用にあたっては十分に注意するようお願いいたします。

1. 著作権・肖像権

- 他人が作成した著作物を許可なく公開しない
- 承諾が得られていない人物の写真・動画を公開しない



2. 授業・研究の情報公開

- テスト問題・テキスト等を不特定多数に公開しないように注意する
- 守秘義務に抵触する場合もあるため、厳重に扱う
- 公開前に担当教員に必ず確認・許可を取る

3. プライバシーの情報公開

- 個人情報を発信することで、ネットストーカー・プライバシーの侵害・誹謗中傷といった危険を孕むことを理解する
- 住所・電話番号・メールアドレス等、個人を特定できる情報には特に注意する
- 情報の公開範囲を確認して公開することを心掛ける
- 写真・動画をソーシャルメディアに投稿する際は、位置情報設定に気を付ける

授業で困ったら相談を

本学では、この秋学期以降についても新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえながら一部対面授業を取り入れつつオンラインでの授業を実施していく予定です。

講義・ゼミ・学生生活に関して何か困ったことがあれば、科目担当教員、クラス担任、指導教員、各種相談窓口気軽に相談ください。

【IPS】：学生向け）オンライン授業の受講に関する大切なお知らせ

- システムトラブル、ソフトウェアや環境に関する問い合わせ
⇒オンライン問い合わせ窓口
MyWaseda (<https://my.waseda.jp/>)
- 授業内容や教材に関する問い合わせ等
⇒ITサービス
ヘルプデスク
⇒お問い合わせ
⇒IPS事務所：gakumu-ips@list.waseda.jp

【IPS】：学生向け）学生生活を支えるサポートについて

- さまざまな心配事に対する各種相談窓口
- 学生相談室や保健室への相談等

⇒IPSスクエア
<https://www.waseda.jp/fsci/gips/campuslife/ipssquare/>

修士課程学生 研究室配属 Master Course Laboratory Assignment

2022年9月/September 2022

1

研究室配属について Laboratory Assignment

1. 仮配属対象者

Audience of provisional laboratory assignment

2. 仮配属・本配属条件

Selecting rules

3. 配属面談日程

Schedule of interviews for selecting a major

4. 研究室配属定員数

Number of the students for laboratory assignment

2

1. 仮配属対象者

Audience of Provisional Laboratory Assignment

2022年9月入学者で、研究室への仮配属を希望する者

Students who entered in September, 2022 and wish provisional laboratory assignment.

3

2. 仮配属・本配属条件

Selecting Rules

- 1) 各研究室の配属（仮配属）希望者が、各入学時期につき各研究室の配属定員数に満たない場合、全員配属（仮配属）、それを超える場合は教員の許可を得ることができれば、入学年度あたり10名まで配属可能

If the number of applicants of the (provisional) assignment to a laboratory each semester \leq the maximum number for assignment for each laboratory, all of them are (provisionally) assigned to the lab. unconditionally.

If the number $>$ the maximum number for assignment for each laboratory, up to 10 students can be (provisionally) assigned to the laboratory if the supervisor agrees.

- 2) 仮配属は本配属のための必要条件ではない

The provisional assignment is not a necessary condition of the final assignment (major selection).

4

2. 仮配属・本配属条件(続き) Selecting Rules (Cont.)

- 3) 仮配属の者は、仮配属期間中に研究室を変更できる。なお変更の場合は、既仮配属先及び変更先教員の許可が得られ、かつ1) 項の条件を満たした場合とする。

The students provisionally assigned to a laboratory can move to another laboratory during the provisional assignment period, if the supervisors of both laboratories agree and that the conditions in "term 1)" are satisfied.

- 4) 仮配属の者が、仮配属を中止したい場合は既仮配属先教員の許可を得て、仮配属中止願を提出する。

When the students provisionally assigned to a laboratory want to discontinue the provisional assignment, fill and submit a "provisional assignment discontinuance application form" under the permission of the supervisor of the laboratory.

5

3-1. 配属面談日程 (仮配属)

Schedule of Interviews for Selecting a Provisional Laboratory Assignment

第1次 1st	希望研究室の教員と面談 ※先生とメールでコンタクトを取る際、自己紹介シートを送ること Interview with supervisor of your choice *Send "Self-Introduction Sheet" when you have a contact with supervisors by email.	学生 Students	9/14(Wed) ~ 9/30(Fri)
	受入決定した学生の情報を事務所に報告 Report the accepted students' information to IPS office	教員 Supervisors	締切り /Deadline 10/3(Mon)
	面談結果を反映した「研究室仮配属決定者」を掲示 Result of interview is announced on bulletin board	事務所 Office	10/4(Tue)
第2次 2nd	希望研究室の教員と面談 Interview with supervisors of your choice	学生 Students	10/4(Tue) ~ 10/7(Fri)
	研究室仮配属希望調書提出 (第1, 2, 3 希望) Select up-your desired three laboratories and submit for 2nd Provisional Research Laboratory Application Form	未配属の学生 Unassigned students	10/4(Tue) ~ 10/7(Fri)
	入試成績に基づき「研究室仮配属決定者」を掲示 Result is announced on bulletin board based on your entrance examination score	事務所 Office	10/10(Mon)
	仮配属開始/Start of provisional laboratory assignment		10/12(Wed)
	仮配属終了/End of provisional laboratory assignment		3/2(Thu)

6

仮配属の流れ

第1 希望研究室の教員と面談 ※先生とメールでコンタクトを取る際、自己紹介シートを送ること

Interview with supervisor of your first choice

*Send "Self-Introduction Sheet" when you have a contact with supervisors by email.



教員が受入決定した学生を事務所に報告

Supervisors will report the accepted students' information to IPS office



面談結果を反映した「研究室仮配属決定者」を掲示
Result of interview is announced on bulletin board

★研究室未定の学生

Students not assigned



★研究室が決定した学生

Students assigned



・希望する教員と面談後、第1, 2, 3 希望を第2次研究室仮配属希望調書で提出

Students must have an interview with supervisors of your choices and submit 2nd Provisional Research Laboratory Application Form for desired three laboratories choice

・「キャンパスカード設定願」を作成し研究科事務所学務係へ提出
Submit the campus card setting application form to IPS office



7

入試成績に基づき「研究室仮配属決定者」を掲示
Result is announced on bulletin board based on your entrance examination score

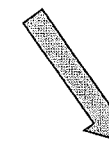
★研究室未定の学生

Students not assigned



★研究室が決定した学生

Students assigned



2月2日(木) February 2nd (Thu)
第1次研究室本配属希望登録締切
Registration Deadline of your research laboratory request

・「キャンパスカード設定願」を作成し研究科事務所学務係へ提出
Submit the campus card setting application form to IPS office

8

3-2. 配属面談日程 (本配属)

Schedule of Interviews for Selecting a Major

第1次 1st	第1次研究室本配属希望登録 Register 1st request of research laboratory	学生 Students	締切り/Deadline 2/2(Thu)
	第1次希望研究室の教員との面談 Interview with the supervisors	学生 Students	2/3(Fri) ~ 2/11(Sat)
	第1次面談結果を反映した「研究室本配属決定者」を掲示 Announcement of 1st assignment results reflecting interview	事務所 Office	2/14(Tue)
第2次 2nd	第2次希望研究室の教員との面談 Interview with the supervisors	学生 Students	2/14(Tue) ~ 2/20(Mon)
	第2次研究室本配属希望調書提出 Submit 2nd research laboratory application form	未配属学生 Unassigned students	2/14(Tue) ~ 2/21(Tue)
	第1学期の成績に基づき「研究室本配属決定者」を掲示 Announcement of 2nd assignment results reflecting scores of 1st semester	事務所 Office	2/24(Fri)
	本配属開始 Start of major laboratory assignment		3/3(Fri)

9

本配属の流れ

第1次研究室本配属希望登録締切り
Register 1st request of research laboratory

研究室本配属希望を希望教員へ連絡するので、学生が直接、指導教員に連絡をとり面談を行う
Students must make an appointment with supervisor for the interview

第1次面談結果を反映した「研究室本配属決定者」を掲示
Announcement of 1st assignment results reflecting interview

★研究室未定の学生
Students not assigned

★研究室が決定した学生
Students assigned

第2次研究室本配属希望調書提出
Submit 2nd research laboratory application form (a course) to IPS office

・「キャンパスカード設定願」を作成し研究科事務所学務係へ提出
Submit the campus card setting application form to IPS office

10

第1学期の成績に基づき「第2次研究室配属決定者」を発表 (事務所前掲示板)
Announcement of 2nd assignment results reflecting scores of 1st semester (bulletin board)

★研究室未定の学生
Students not assigned

★研究室が決定した学生
Students assigned

第3次研究室配属希望調書提出
Submit 3rd research laboratory application form to IPS office

・「キャンパスカード設定願」を作成し研究科事務所学務係へ提出
Submit the campus card setting application form to IPS office

第1学期の成績に基づき「第3次研究室配属決定者」を発表 (事務所前掲示板)
Announcement of 3rd assignment results reflecting scores of 1st semester (bulletin board)

11

情報アーキテクチャ分野

研究	配属定員数	研究指導教員
	2022年 9月入学者	
スマートインダストリー	8	藤村教授
ニューロコンピューティング	7	古月教授
データ工学	6	岩井原教授
イメージメディア	6	鎌田教授
バイオ情報センシング	2	亀岡教授
用例翻訳・言語処理	6	ルバージュ教授
バイオ・ロボティクス&ヒューマン・メカトロニクス	8	松丸教授
光ファイバシステム	10	坪川教授
コミュニティ・コンピューティング	5	吉江教授
ネットワークインテリジェンスとセキュリティ	5	伍教授

12

Information Architecture Field

Research Name	The maximum number for assignment	Supervisor
	September 2022 admission	
Smart Industry	8	Professor Fujimura
Neurocomputing Systems	7	Professor Furuzuki
Data Engineering	6	Professor Iwaihara
Image Media	6	Professor Kamata
Bio Information Sensing	2	Professor Kameoka
Example-based machine translation/NLP	6	Professor Lepage
Bio-Robotics & Human-Mechatronics	8	Professor Matsumaru
Fiber-optic systems	10	Professor Tsubokawa
Community Computing	5	Professor Yoshie
Network Intelligence and Security	5	Professor Wu

13

Production Systems Field

Research Name	The maximum number for assignment	Supervisor
	September 2022 admission	
Current Bioelectronics	7	Professor Miyake
Mechanical System Design	10	Professor Tanaka, E
Production Process	6	Professor Tateno
Functional thin films	5	Professor Ueda
Biomedical Engineering	8	Professor Takahashi
Mobile Robotics Platform	10	Professor Hashimoto

15

生産システム分野

研究	配属定員数	研究指導教員
	2022年 9月入学者	
先端バイオエレクトロニクス	7	三宅教授
機械システム設計	10	田中 英一郎教授
生産プロセス工学	6	立野教授
薄膜機能材料	5	植田教授
生体医工学	8	高橋教授
移動ロボティクス・プラットフォーム	10	橋本先生

14

集積システム分野

研究	配属定員数	研究指導教員
	2022年 9月入学者	
画像情報システム	7	池永教授
高位検証技術	10	木村教授
知的音響システム	9	牧野教授
集積システム最適化	4	山崎教授
無線通信回路技術	9	吉増教授
マイクロ電気機械システム	10	池橋准教授
発光システム	10	碓塚准教授
光電子集積システム	9	高畑准教授

16

Integrated Systems Field

Research Name	The maximum number for assignment	Supervisor
	September 2022 admission	
Image Information Systems	7	Professor Ikenaga
High-Level Verification Technologies	1 0	Professor Kimura
Intelligent Acoustic Systems	9	Professor Makino
Integrated System Optimization	4	Professor Yamasaki
Wireless Communication Circuits Technologies	9	Professor Yoshimasu
Micro Electro-Mechanical Systems	1 0	Associate Professor Ikehashi
Light Emitting Systems	1 0	Associate Professor Kakitsuka
Opto-electronic Integrated Systems	9	Associate Professor Takahata

修士論文中間発表会

The Intermediate Presentation for Master's Thesis

早稲田大学大学院
情報生産システム研究科

1

1. 目的および提出書類

Purpose and Submission Document

□ 目的/Purpose

- ・ 修士論文の進捗状況
To examine the progress of the master's thesis
- ・ 履修科目の理解度
To examine comprehension of subjects

研究および科目履修がおもわしいかどうかの判定を行なう

□ 提出書類/Submission Document

- 中間発表概要書
The outline of Intermediate Presentation

2

2. 実施時期および対象学生

Schedule For Presentation

□ 実施時期/Schedule

修士希望半年前（4月初旬または10月初旬）

6 months before your target graduation (Either beginning of April or October).

□ 対象学生/Qualification

修士課程在籍（休学期間除く）1年半以降かつ修士希望半年前の学生で、入学1年後（休学、留学期間を除く）の時点で、講義科目18単位以上、演習または特論4単位以上、合計22単位以上を取得している学生

Students enrolled in a master's course (excluding leave of absence) for one and a half years or more, and six months before wishing to complete, and one year after enrollment (except for leave of absence and study abroad period), who have obtained a total of 22 credits or more, including 18 credits or more for lecture subjects, 4 credits for exercises or special lectures.

3

3. 審査委員と判定方法

Examiners and Screening Procedures

□ 審査員/Examiners

研究指導を担当する教員を含む3名の本研究科教員が審査する。
The examiners consist of three faculty members including the student's supervisor as a chief-examiner.

□ 修士論文中間発表の判定は合否により行う。

The result of screening will be pronounced as success or failure.

□ 審査員のうち2名以上の審査員が否の判定をした場合、警告を発する。

In the case two or more examiners reject the presentation, the warning will be announced on bulletin board.

4

修士修了審査

The screening procedures of the master's thesis

早稲田大学大学院
情報生産システム研究科

1

1. 目的および提出書類

Purpose and Submission Documents

目的 / Purpose

修士修了の判定を行う

Evaluation of master course completion.

提出書類 / Submission documents

1. 修士論文概要書

The outline of master's thesis

2. 修士論文 / The master's thesis

2

2. 対象学生 / Qualifications

- 原則として修士課程在籍(休学期間を除く)
2年目(以降)の学生

The students who are in one's 2nd years of the master's course in principle (the period of leave of absence will not be counted).

- 修士論文、修士論文概要書を期限までに提出した学生

The students who submit the master's thesis and the outline of master's thesis by the deadline.

3

3. 実施時期および審査員

Schedule and Examiners

実施時期 / Schedule

各学期末(7月, 2月)

At the end of each semester.(in July or February)

審査員 / Examiners

主審査員1名 / 1 chief-examiner

副審査員2名 / 2 examiners

4

4. 審査方法 / Screening Procedures

□ 審査方法 / Screening procedures

1. 審査は修士論文と論文発表会の結果を考慮し合否判定を行なう。

Success or failure is determinate in consideration of the evaluation of the master's thesis and the oral presentation.

2. 審査員のうち2名以上の審査員が合の判定を行った場合、合格と判定する。

Two or more examiners' judgment as success is required to pass.

注意：修士修了判定は論文合格に加えて所定の取得単位要件を満たすことが必要である。

For completing the master's course, prescribed credit earning is also required.

5

5. 論文の外部発表

Publishing a paper

□ 修士論文の内容で外部発表をする場合は、IPSの指導教員に相談すること。

You should obtain the approval of your advisor in IPS when you will publish a paper on the results of your master thesis of IPS at some conference/workshop/journal/transaction.

6



Webによる科目登録 Course Registration by web

登録期間：

- 1次登録 9月20日 (火) 9:00 ~ 22日 (木) 17:00
- 2次登録 9月28日 (水) 9:00 ~ 29日 (木) 17:00
- 3次登録 10月3日 (月) 9:00 ~ 4日 (火) 17:00
- 4次登録 10月7日 (金) 9:00 ~ 10日 (月) 17:00

Course Registration:

- 1st registration period Sep. 20 (Tue.) 9:00 - Sep. 22 (Thu.) 17:00
- 2nd registration period Sep. 28 (Wed.) 9:00 - Sep. 29 (Thu.) 17:00
- 3rd registration period Oct. 3 (Mon.) 9:00 - Oct. 4 (Tue.) 17:00
- 4th registration period Oct. 7 (Fri.) 9:00 - Oct. 10 (Mon.) 17:00

1

Webによる科目登録 Course Registration

- 修士課程の学生は必ず科目登録期間中に今学期の履修登録を行うこと。4次登録期間終了後は登録出来ませんのでご注意ください。
- **Please register your courses during this period. After Oct. 10 (Mon.) 17:00, any registration will not be accepted. Please be aware.**



2

Webによる科目登録 Course Registration

- 時間割や講義について、追加や変更もあります。登録期間中も事務所横の掲示板やWebサイト (IPSスクエア) にて随時ご確認下さい。
- **There are some updates for classes information. Please check on our bulletin board or website (IPS Square) by IPS office during your registration.**

<IPSスクエア>

<https://www.waseda.jp/fsci/gips/campuslife/ipssquare/>

<IPS Square>

<https://www.waseda.jp/fsci/gips/en/campuslife/ipssquare/>

3



Webによる科目登録 Course Registration

- 毎学期始めの科目登録期間にその学期に履修する科目を登録してください。登録しなければ単位を取得できず、修了ができなくなる可能性がありますので登録もれのないよう注意してください。
- **Please be careful not to miss the course registration period at the beginning of every semester. You might miss the graduation, if you miss the registration.**

4

講義出席について

Attending the lectures

- 2022年度秋学期の講義科目（基礎/専門）は、殆どの科目でオンライン授業が実施されます。
- Web科目登録した科目について、各登録最終日の翌日からWaseda Moodle にゲストとして仮登録され、講義情報入手することができます。（科目登録期間中に取消した科目は、結果発表後にゲスト登録が解除され、Waseda Moodle には表示されなくなります。）
- 出来る限り履修希望の第一回目の講義に出席できるように1次・2次登録期間中に科目登録をしてください。
- **Most of the lectures (Fundamental Subjects / Advanced Subjects) for the Fall Semester 2022 will be offered online.**
- **For courses registered on the Web, you can temporarily register as a guest in Waseda Moodle from the day after the last day of each registration and obtain lecture information. (Courses canceled during the course registration period will be canceled as guest registration after the results are announced and will not be displayed in Waseda Moodle.)**
- **Please register during the 1st and 2nd course registration periods so that you can attend the 1st lecture as much as possible.**